滿洲日報

靑豆價錢五吊九百文至五吊五百文
小米價錢六吊九百文至六吊二百文
紅粮價錢五吊二百文至五吊
合……價錢四吊八百文至四吊七百文

赤味 全
札幌麥酒 全
蜂印香竄葡萄酒 大瓶四打入 全
同五圓 同四圓 同九圓三十錢 同九圓八十錢 同二十二圓五十錢

桃製 人形 ミルク 全 四打 二打半
同八圓五十錢 同十一圓 同九圓五十錢 同十二圓五十錢

澤鶴 サツポロビール 正味四斗四升入 全 切込 全 十四圓五十錢 十七圓 九圓七十錢 (宅合名會社調査)

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

來ル廿五日ヨリ三十日迄支那正月ニ付臨時休業致候也

明治三十九年一月廿二日

橫濱正金銀行 牛莊支店

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部 河岸通(電話五十二番)

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市穩岐町三百三十八號 日華運輸公司
遼陽 遼陽俱樂部 谷口今朝太郎

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今同倉庫所在地(靑堆子精搗場北隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

宅合名會社 銈

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綫子洋朕鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屝臨爲幸

總司理人 田中賴之助謹白

◎東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

◎東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

◎西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

◎仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

◎恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己并另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

◎元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一槪發行裝運沙寗鳩船交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

◎瑞生洋行(德商)

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議

營口西街潮溝西本行主人啓

◎代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(捷利)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沾來福)淸香撲鼻佳美適口而價値極廉諸貸欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

茲爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙然雙鶴牌(隆沾來福)百合花(利利)櫻花牌(捷利)星象牌(斯達)無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任產婆大道しげ子)

院主 森 矯
醫長 鈴木昌平

營口永世街(電話一五五番)

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門外(ブツシ)商會東街

川喜鐵工場

一關內外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大淸通運公司 營口支店

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●

新民屯停車場前
●同 支店●

隆慶公司

開設在東關門外自有碼頭恬豊木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊炸子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

各種材木
廉價大販賣

塩川商會

營口永世街二本町

◎和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

◎田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡 中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

◎東來醬園(日商)

本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆壘經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價値甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而鹽梅之効少若用此油則醬味調和必諸不特于衛生之道受益少衆爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非謗張之談矣

本園主人謹白

代理 道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也

德商 瑞記洋行代理人謹啓

雜貨卸商

在營口元神廟街
關東公司雜貨部

料 一ヶ月以內 … 長期連揭載價面議
Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.
發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

東京電報

（一月二十二日通信員發）

●**載澤公一行の着京** 清國特派使輔國公載澤一行今朝着京し直に芝離宮に入る出迎人は東鄕軍令部長加藤外務大臣原内務大臣宮内次官及清國官民數百名なり

●**載澤公の參內** 澤公等は來る二十五日參內陛下に謁見仰付らるゝ筈

●**衆議院議長當選** 政友會代議士杉田定一氏は衆議院議長に當選したり

●**全院委員長當選** 憲政本黨代議士關直彦氏は全院委員長に當選したり

倫敦電報

●**總選擧と最近の新議席** 總選擧最近の結果に依れば自由黨二百六十二名勞働黨三十四名統一黨百十四名國家黨百十四名にして自由黨は百三十九統一黨は九の新議席を得たり

●**社會主義者の示威運動** 昨日伯林に於て選擧權問題に對する社會主義者の示威運動ありしが無事に經過せり

●**社會主義者の集會所數** 同主義者の集會は市中九十二ヶ所に於て開かれたり

（以上一月二十二日發電）

雜報

●**新内閣下馬評** 客あり憲政本黨一領袖に向ひ新内閣顔觸の意外なるを嘲り其の必す短命なるべきを説くや某氏之を打消して曰く先年桂内閣の成立するや人々皆之を輕侮し期年ならずして倒れんと笑ひ居たるが實際に於ては内閣創始以來の長壽を保ちたるにあらずや今回の内閣も亦事實に於ては或は相當の治績を擧げ人をして新内閣の新政に謳歌せしむるやも知るべからず吾輩等も出來得る限りの援助を與へ尠くも二三年間は持續せしめたく思ふなり今試みに新舊閣員の個々に就き之を比較して見よ西侯桂伯二者の優劣は暫く之を擱き先づ外務の加藤は貫目に於ても技倆に於ても確に小村の上なるべく内務の原は淸浦に比し二倍以上の働きあり大藏の阪谷は貫目に於て稍缺くる所あるも舊内閣の財政方針を變更せざる限り此の人に勝るの適任者あらざるべし何となれば從來に於ても曾禰よりは多く阪谷の手にて事務を捌き居たるなるべし又彼れとても其の位に就けば彼れ相當の貫目は漸を以て加はり來るべければなり司法の松田は波多野に比して輕重なく遞信の山縣は兎角の批評はあれど所管事務の上に於ては敢て大浦に讓らざるべし文部の牧野は久保田よりも確に農商務省の松岡は顔に似合はぬ正直の人の由なれば是れ亦無難なるべし此の人を容れたるは即ち西園寺侯の貴族院政策にして侯は初めより研究會と木曜會とに注目したる由なるが研究會は山縣の手を通して抑ふる積りなるべく現に山縣侯は養子の出世に頗る滿足の體なりと傳へらる又松岡は即ち木曜會員なれば或は注文通り成功するやも知るべからず以上の顔觸を見渡すに新内閣の幹部は西侯加藤原の三人にして他は皆伴食の感あれど併し一内閣に三人も相當腕利あれば澤山なり船頭多くては船を山に上る虞あり云々

●**首相等の黨籍** 西園寺侯が内閣を組織するに至りしが政友會總裁としてにはあらず單に名望地位共に高き同侯に向て大命下りたるものなれば新内閣成立後は西園寺侯を始め原松田兩氏も政友會を脱會すべしと傳へられしが西園寺侯は前年伊藤侯が政友會總裁たりし際にも同會員として樞密院議長の顯職に就任し居たることあれば今回内閣首相となりたりとて此際政友會との關係を絶つ必要なきを以て依然同會總裁として傍ら黨務を統轄する筈にて隨つて原松田兩氏も脱會せざる事に決し居れりといふ

●**露清談判準備** 清國政府にては日淸談判既に結了に至りたるを以て外部は露國公使に向つて滿洲善後策の協商を申込むと同時に他の一面には黑龍江吉林兩省將軍に電飭して地方の狀形を考察し以て外部に復電せんことを命し露清談判の參考に資せんとて準備中と

●**海外移民の趨勢** 海外移民の數は年を追うて增加しつゝあるが明治十八年以來の移民統計表は左の趨勢を示せり

	男	女	計
十八年	一、八七五	三五一	二、二二六
十九年	九七八	三三七	一、三一五
二十年	二、四六三	四三三	二、八九六
廿一年	三、五三六	七四一	四、二七七
廿二年	四、二三七	九四八	五、一八五
廿三年	四、一八七	一、一八三	五、四七〇
廿四年	七、一六四	一、九七〇	九、一三四
廿五年	五、七四六	八六一	六、六〇七
廿六年	七、〇八八	一、三五一	八、四三九
廿七年	八、九〇八	一、一九九	一〇、一〇七
廿八年	一〇、三〇六	一、七二〇	一二、〇二六
廿九年	九、〇三六	三、二六三	一二、二九九
三十年	一一、九〇〇	一、八〇三	一三、七〇三
卅一年	一二、五九四	二、三九六	一四、九九六
卅二年	二、一六一	五、一九二	七、三五四
卅三年	一五、三三三	一、四三五	一六、七五八
卅四年	四、三九五	一、〇九五	六、四九〇
卅五年	一〇、五八五	五、三三四	一五、九一九
卅六年	一三、一三一	一、九一四	一四、〇五五
卅七年	一三、二六一	一、四〇二	一四、六六三

三十八年度分は未た調査終了せさるを以て知るに由なきも三十七年度の一萬四千六百六十三人は十八年の二千二百二十六人に對し約七倍の多數に上れり

●**卅八年臺灣貿易** 昨年中の臺灣貿易は輸出千五十八萬圓輸入千九十四萬圓差引四十四萬圓の輸入超過にして前年分より輸出に於て百八十萬圓輸入に於て百八十九萬圓を何れも減退せり亦金銀輸出入は輸出百廿二萬圓輸入四十五萬圓差引七十七萬圓の出超を呈し其の前年と大差なし

●**渤海浮流水雷** 旅順大連灣附近に敷設せられたる日露兩國水雷は其の後兩國に於て位置を明示し其の附近を掃海搜索し居たるも流潮風波の爲一定の位置にあるもの少くして諸所に浮流せるより近頃に至りては又々同地方航海船舶の之を發見するもの多き由なれば航海業一般に注意すべしとなり

●**商工事務官設置費削除** 農商務省は戰後貿易の發展に伴ひ海外重要市場へ十二名の商工事務官を設置するの計畫を定め之に要する費用約二十五萬圓を三十九年度豫算に計上したりしも大藏省に於て查定の結果削除せられたりと

●**韓國農業振興策** 曩に外務、農商務兩省の協議に依り農產及ひ土地調查の爲韓國各地方面へ出張を命せられたる技師技手囑托員等は各其の調查事業を了し客月全員歸朝したるが右調查員の調查に係る韓國農業振興に就き革新施設すべき事項中韓國政府及ひ我が政府に於て實行せさる可からすと思料せるもの左の如し

▲韓國政府に於て施設を要すべき事項

(イ)農業行政機關を刷新擴張する事
甲　中央に置くもの
(一)農商工部に農政顧問及農務官を置く事
乙　地方に置くもの
(一)觀察府及郡衙に農務官を配置する事
(ロ)勸業機關を刷新擴張する事
甲　中央に置くもの
(一)農事試驗場　栽培、收穫、製造等の試驗を施し農業改良に資する事
(二)種苗場　苗種を育成し之を全國に配布する事
(三)種畜場種畜を飼養し之を全國に配布する事
乙　地方に置くもの
(一)主要なる地方に農事模範場を置き種苗、種畜の配布を爲し且種々模範を示す事
(ハ)勸業補助費を設け必要事業を奬勵し水利工事を補助する等のことを爲す事
(ニ)農業教育機關を刷新擴張する事
甲　中央に置くもの
(一)農學校　中學程度の實業教育を爲す事
(二)蠶業講習所　簡易なる蠶業教育を爲す事
乙　地方に置くもの
(一)農事講習所　農事模範場に附屬せしめ低度の實業教育を爲す事
(備考)農事教育機關は農商工部の直轄なることを要す
(ホ)國有たるべき土地を管理する機關を設くる事
(一)内閣に隷する土地管理局を設け國有たるべき土地を管理する事
以上施設の諸機關には邦人を招聘し其の主腦たらしむる事

▲日本政府に於て施設を要すべき事項

(イ)土地所有權及内地住居權を確定する事
(ロ)國有土地を日本人に於て利用する事
(ハ)農業金融の便を開く事
(ニ)移住民に汽車汽船賃の割引を爲す事
(ホ)農事企業者の指導の爲一の機關を置く事
(ヘ)日韓農業行政の連絡を計る事

韓國政府に於て施設すべき事項に要する經費は少からさるが國庫の財源と爲し得べきものにて農業に關係あるもの丶みにても左の二大税源ありと

一隱戸取締に因る戸税の增収
一隱結取締に因る地租の增収

●**鐵嶺の普通郵便事務の開始** 從來鐵嶺に於ては野戰郵便局の外郵便上に於ては何物も無之りしを以て軍人軍屬以外の者は信書の發受に頗る困難する所ありしが開放以後普通邦人の來往する者愈々增加するに於て斯ては不便少からすとし一月以降關東總督府の野戰郵便局に限り軍人軍屬以外の信書は紛來として一時郵便局に留置き本人の出頭して持ち歸るに任し從前に比しては幾分か便利となりたるも尙ほ不便少からさりしか遞信省に於ても此邊の事情に察する所あり愈々去る本月の二十日より普通郵便事務の取扱を開始するに至りたりと云ふ、因に左房店、寨馬集、ツラジミロフカも鐵嶺同樣二十日より普通郵便事務を開始せられたりとなり

●**遼河輸送組合と鐵道營業** 今回保證金二萬圓を納付せし十二名の中に遼河輸送組合も交りあるは知る者の知る所なるか今ま鐵道營業に對する關組合の申合せなる者を聞くに各組合員二千圓宛を支出し業務開始後は各實際に於て支店事務を開始し總収入の七割を以て各自の所得となし殘餘の三割を事務所に納付し事務所は此の各組合員の納付に係る三割を以て職事の俸給其他一切の費用を使辨し若し殘餘を生したる場合に於ては更に各組合員に配當するに在りと尙ほ同組合は目下の所其の人員十名なるか斯ては一人二千圓を支出するも僅に二萬圓の保證金を納付するに過きされは進んで營業資本を作るには是非共今日に於て組合員の人數を增加せさるへからすとし昨今頻に組合人の加入に奔走しつゝありと

●**日本人會の臨時會議** 去日同會に與倉長官臨席の際種々の訓示又は希望等ありたる結果或る重要問題に付取調の必要を生し瀬川會長より委員を選擇し某々等委員となり既に取調べ結了したるを以て其報告を今明日間に臨時會議を開催し各評議員一同に報告し併せて討議に附する筈なりと云ふ

●**牛莊郵便局の人員增加** 牛莊郵便局は爲替事務に於て小包事務に於て其他種々の郵便事務に於て事務月々に增加し到底現在の人員にては扱ひ難く捗て同局長より遞信省に人員增加を申請する所ありしか今回愈々同省より通信手三人を増遣する通知ありたりとなり

●**撫順の女人禁制** 撫順開放を一と度報ずるや例の賤業婦我先にと其筋へ願書を差出す者日々七八名宛あるが該地には未た女人の居住を許されず願書は總て却下となる由なれば該地へ轉住希望の婦人は當分見合すべしと

●**長岡少將招待會** 既報の如く長岡少將は昨日午前當地に着せられたるを以て與倉司令官は昨夜少將を主賓として叮重なる晩餐會ありたりと云ふ其詳細は次號に揭載すべし

●**ボヤ** 一昨夜十二時頃第五派遣所附近の淸人苦力の家屋より失火し既に大火に至らんとする所同所憲兵認め半燒にて消留めたりと云ふ

無題錄(一)　盜泉

▲日本人會　一般在留民は日本人會の現狀に付き愛憎を盡かし怒罵を逞ふして曰く破解せよと而して一部日本人會の緣故者は未練を殘し哀訴して曰く誘掖せよと吁破壞するか非か、誘掖すべきか是か　破壞非なれは宜く誘掖すへし誘掖是ならされは復た即ち破壞すへし是非の中間に徨彷し左顧右眄、決斷に躊躇するは洵に愚の骨頂也、在留六千の同胞は爾く決斷に勇無きか、抑も亦た日本人會は爾く解釋の難きを覺ゆるものか、

▲誘掖破解　誘掖哀訴するは將來に希望ありと觀取するか爲ならん、破解を怒號するは將來に絶望せし結果ならん、誘掖を哀訴する者は宜敷其の觀察を公表し堂々其の誘掖を主張すへし破解を怒號する者亦何爲れぞ公々然社會に向つて絶望を主張せさる、哀訴する者、怒號する者龍闘虎擊を演して眞理自ら其其間に現る、營口廣からすと雖も、一度演說會を開催せんか聽衆少くも一千人を得ん、營口末た、進歩せさるも、滿洲日報あり一度筆を呵せんか五千の讀者は、速座に是非の判決を與へん、之を口に論する可也、之を筆に訴ふ可也、利器は即ち論者の運むよ所に從ふ公表する能はされは哀訴するを止めよ、奮闘する能はされは怒號するを已めよ、畢竟之れ痴和けんかのみ、寧ろ社界を愚にするにはあらさるか咄。

▲衣食周旋　日本人會抑も何物ぞ眞正の意味は在住民の衣食周旋所に過きし會則如何に立派なりと雖も細則如何に周到を極むと雖も、目的は以上に及ぶ能はさる也、夫れ既に衣食の周旋所のみ、是非の解釋豈に困難を覺へんや即ち日本人會か在留同胞の衣食の周旋に忠實なれは非難是ならず之に反して忠實ならされは是即ち非也是非の決定洵に斯の如く容易也哀訴する者怒號する者猛省一番白黑を公衆の面前に於て論爭して可也、彼等は日本人會を生育しつゝある者、而して日本會は衣食の周旋を爲し以て彼等の厚意に酬ん事を誓ひたる者、夫れ然り衣食の周旋を宣言せし者が果して衣食を周旋しつゝあるか衣食の周旋を受くへく豫期したる者が却て衣食を周旋せんと宣言せし者に衣食を周旋しつゝあるか之を最も能く知るは彼等也主張の範圍は最も單純にして判斷の地位に在る公衆の明は又た斯の如し是非の決定易々たり誘掖を主張する者、破解を怒號する者、夫れ勇奮一番せさるか

●**客と飛脚の大立廻** 過る四五日前の午後十時頃軍政署前の道路近頃出來たる輕便鐵道切符賣賣所附近の詩吟亭とか云ふ〇〇屋に入り來れる男あり年齡二十五六歲前後にして古き滿洲服を着せる酒保らしき者戸口より何やら訪へば其聲を聞き付け來りしは十八九許の痩ギスの男女の顔を見るよりもはや〇本さんかと馳せよれば男もヤアと互に喜色滿面其無事を祝するもの丶如く暫し無言の体なりしが軈て女に導かれて二階に登り時におはるさん久し振りだね、〇本さんも余り薄情の方だよ此前いらした時二三日中に亦來るからと云はれてからモウかれこれ三ツ月にもなるじや有りませんか妾ぜんなに待つたか丶丶丶せめて手紙の一本位呉れても敢て差支へも無いでせうにと七六ツケ敷怨ずれば男は實は直ぐ來る筈であつたが何分昨年あの講和不結果が僕等にも影響したと見へて其稼儲けも段々減つたのでつい〳〵、オヤそふですか然し異逆講和とやらが貴郎にも影響しようとは思ひませんでした兎に角一杯おやんなさいと早速酒肴を取寄せ互に酌しつ酌されつ果ては何やらとソ〳〵話折から階子段も荒々敷て座敷に上り來りし三十余の男何やら若者に言ふ樣子なりしが果ては互に大聲にて言ひ爭ひとなり遂には兩名大立廻り德利飛び盃洗蹴る騷ぎを演せしが遂に彼の男は奮然と其場を立去り牛家屯方面に向け行きたるが其後より追行きたる彼の女若し〇本さん彼の人牛家屯通ひの飛脚さんで二ケ月前に一二度來たばかりなのですよと咏く誤魔化して右と左に袖を分ちしが流石滿洲三界迄娼賣て重々の不都合を謝し果ては互に亦の逢瀨を約して來る姫御前は亦特別な舌を有するものなり

●**梅毒を苦にして自殺** 放蕩の果ては情死又は自殺などをなして社會の笑ひ者となるは殆ど活版摺りの話なり之れも其誤親類筋の株主なるや原籍不詳中村藤吉(四十一)と云ふ分別盛の男は去る卅年頃當地加藤洋行の臺灣支店に雇はれたるも放蕩の結果一ケ年計り經て解雇せられ其後臺灣又は天津邊りを徘徊し單獨小商內を營みたるも常に失敗し止むを得ず一先づ内地へ歸りし所端なく日露戰爭の起りし爲め一儲なさんと又もや當地に來り他に知るべとてはなく加藤洋行の用便など手傳居りたるに豫て諸方にて賤しき喰ひをなしたる報いは眼前例の毫性梅毒と云ふ聞くも恐ろしき病魔の大株主となり豐濟門街李魁元と云ふ淸人家屋の一間を借入れ保養中倍々病毒身に蔓延し終に吾身の果かなきをかこち一昨々日小刀を以て自殺を遂げたり世の青年は前車の覆る後車の戒め能く注意すべき事なり

●**曰く錄** ▲伊藤曰くマア〳〵西園寺にやらしておくさ世の中は回り持よ▲井上曰く原!シツカリ遣れ▲山縣曰く婿を大臣とは西園寺もなか〳〵利口な男さ▲松方曰く人を馬鹿にな!▲大隈曰く表向きは大賛成▲兒玉曰くヒヨツトコ芝居を見る樣だ▲山本曰く指一本でもさして見ろ▲淸浦大浦曰く今に見ろ▲曾禰曰く來年の豫算をどうする積りか▲桂曰く陸海軍の擴張で內輪のゴタ〳〵が今から見る樣だマア夫までは鯉と湯治にでも行くさ▲大山曰くどうでもよか

汽車

▲上行車時刻表
車站名　午前點分　午後點分
新民屯　上六、〇〇　上九、五七
營口　上八、二〇　下六、〇〇
溝幇子至山海關
山海關至天津

▲下行車時刻表
車站名　午前點分　午後點分
北京至山海關　上一一、〇〇　下六、二〇
天津至　上一一、二〇　下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車
驛名　發着時刻
大連　發午前　九、〇〇

驛名　發着時刻
遼陽　發午後　三、五〇　四、五五
大石橋　着　一〇、三〇　一一、三五
金州　着翌午前　五、二〇　三、一〇

上り列車
旅順　發午後　二、〇三
大連　着　五、三二

營口線　下り列車

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

清國に於ける立憲體の準備

伯爵 板垣退助

支那公使の選擇

帝國戰後の經營に關しては、各方面に於て種々施設し計畫す可き事多しと雖も、之れを大局より考察するに、最も必要なるは支那公使其人を得るに在り、即ち其人選宜しきを得、帝國永遠の利害の上に支那將來の發達の爲めに、併せて日英同盟を最も有効ならしむるが爲めに最も大切なりと謂はさる可らず。

蓋し今後の北京は實に列國外交家の伎倆競べを爲すの地なり、則ち支那公使の人選其宜しきを得さる可らさるは我內閣員の人選よりも大切なりと謂ふ可し。

而して其如何なる人物を採用す可きかと云はば、予は其人の必ずや軍人出身にして文官なる經驗を有する者ならさる可らさるを信す、何となれは我邦は將來支那に對して軍事上の顧問たる必要有り平和の保障を爲すに就て、第二の作戰計畫を十分に調べ置かさるべからず是を爲すには武事ありて且つ文官的學識經驗有る第一流の人物を取らさる可らさるなり此一事は、帝國の戰後經營に於て、最も緊要重大にして且第一着手の事たらずんば非さるなり。

立憲準備の政體

支那の宜しく立憲政體と爲す可きは復た論するを須たずして明なる所、而かも立憲政を行ふに先ち、自ら之れが準備的經營施設の忽にす可らさる者あり、何ぞや曰く徵兵令を全國に布く事、曰く三百萬の陸軍を備ふる事、曰く十八省を通して複線の鐵道を設くる事の如き、即ち其の重なる者なり、而して其の必要缺く可らさる所以は敢て縷々の說明を須たさる所なるも、要するに國民の統一と進歩發達の爲め避く可らさるものなるのみならず、立憲政體を行ふ爲め、之れが準備として最も欠く可らさる所なり、殊に十八省に複線の鐵道を設くるが如きは、支那全國をして運輸交通上の便益を有せしむるのみならず、軍隊集中の爲め、甚だ大切なりと云ふへし。

然して之れと同時に最も樞要なる急務は普通教育を全國各省に施すに在り、云ふまでもなく立憲政體は國民を基礎と爲すの政體なるが、支那にては國民に之れが自覺無し、即ち國家の基礎たる自覺なきなり、然らば國民をして其の自覺を有せしむる事甚だ切要なると共に、普通教育を以て其心智能力を開發し、之れが自覺を振起せしむる事に力めさる可らさるや、亦論するを須たずして明かなり。

世人稍もすれは、支那を無視し、支那數億の蒼生を利導して文明の域に達せしめんと努めず、換言すれば支那の爲めに支那の問題を考究せず、或は分割或は保全と云ふも支那を文明ならしめんが爲めに立論せず、唯長へに支那人をして半開國民の現狀の維持を以て足れりと爲す。

斯の如きは不親切も亦太しと云はさる可からず、我が帝國の上下は須らく、支那を愛し、支那人其者の爲めに、忠實に熱心に、文明國たる樣之を指導し之を援助する事に力めさる可らず、前述の立憲政體施行の準備要件の如き、我が國人は奮て之に參與し、應分の力を致すの覺悟ある可きなり。

予は支那の實情に就き、之を詳にせずと雖も、支那內地特に南方にては種々の團體党派ありて北京政府に反抗するもの丶如し、是れ實に國內の不統一を示す者にして、必すや之を融和し歸一せしめさる可らず、而も立憲政體を行はんとは、即ち民心を一にして調和合同せしむる所以の道にして、他に良法あるを見ず、蓋し支那にては官吏或は政府の國家あれとも、國民の國家無し、國家は國民を基礎とせさる可らす、國民をして自ら國家の基礎たるを自覺せしめさる可らず、而して立憲政體は實に國民を基礎とし、又自覺を國民一般に有せしむる所の政體なれば、支那に於ても、速に立憲政體の準備を爲し、之を實行するに力めさるべからず、是れ則ち日英同盟の效果をして全からしむる所以の道なり。

●過爐銀の起因と歷史

往時營口に於ける諸取引の中豆、餅、油(大豆、豆粕、豆油を指す)を除く外は概ね銅錢又は錢票に依て行はれ豆餅油の三品取引には元寶銀を使用し棉糸棉布雜貨の如き所謂船來品の取引には元寶銀を用ゆるあり銅錢を用ゆるありたるも末だ過爐銀を說くものなし豆餅油の取引に元寶銀を用ひたりと雖も現銀拂に非ずして或は廿日或は三十日の後に支拂ふを約し期日に於ても現銀の受授を要せず惟銀爐の帳簿上に記帳の手續をなし現銀の必要あるに應じ銀爐に就て之を受取る習慣にして恰も本邦に於て銀行の當座預金を有するもの現金の必要あれば何時にても現金を引出し得ると同樣なり元寶銀の銀爐に集積し來る所以は他所より當地に輸入する銀は何れを問はず必ず當地銀爐の手に依り改鑄せられさる可らざる規定あるに由る而して改鑄をし依賴たる者は之を其儘銀爐に預け貨物買入を爲したる時は銀爐に支拂を命じ支拂を受くる者も亦其儘銀爐に預け置き元寶銀の入用なる時を生ずる迄銀爐帳簿上の振替記帳のみにて能く貨物の賣買を爲し得べく銀爐も曾て元寶銀の支拂請求を受たる塲合澁滯したることなかりしが爾後元寶銀缺乏し金融逼迫の時來り元寶銀を要むるものは幾日の猶豫を與ふるか之を與ふる能はさる迄至急を要するもの元寶銀(一錠に付一錠とは過爐銀即元寶銀一塊にして當地のものは品位千分中九九二重量は大凡營平五十三兩五錢以下とす)銅錢二三吊乃至八九吊家名悪しき銀爐に至りては三十吊乃至五十吊の打歩を支拂ふに至れり初め打歩は銙かに受授せしも後遂に公然打歩を請求するとなり打歩は漸次二百八十吊に達し商業を阻止するに至れり是に於て銀爐裕盛祥號掌櫃的(本邦支配人の格)李業聲棧房永同慶掌櫃的宋墨稿油房履泰號掌櫃的胡泰運の三人協議を遂げ新法を案出し過爐銀と稱し總ての取引に之を用ひ一年を四期に分ち三六九臘の月を決算日とし卯期と稱し貸借は多少共に必らず現銀を以て決算することを規約し南幇北客に謀り贊成を得て此法を實行するに至れり是過爐銀の起因にして時は明治十六年即ち光緒九年也斯て過爐銀は當市に於ける總ての取引に用ひらるゝこととなりたれとも獨河降りの粮食大豆は依然元寶銀を以て賣買せられたりと云ふ蓋し河降りの粮食大豆は多く遼陽の地より來り過爐銀は當市限りの通貨代用にして期日の達するか若くは換色(今は加色と稱す)を支拂はされば元寶銀を持歸る能はさる故ならん初めて過爐銀を使用したる當時一期の初に在ては換色相庭は元寶銀一錠に付過爐銀一兩位にして一ヶ年經過したる後は一兩一二錢となり更に一ヶ月を經過せば四錢乃至六錢に低落し期の終に至れば皆無となり換色を要せずして過爐銀五十三兩五錢と元寶銀同額と交換し得べく爾後過爐銀は故障なく元寶銀の代用を務め居るが明治二十七年光緒二十年日淸兩國和を失し干戈を訴ふる不幸に遭遇したるに全市の商家悉く元寶銀を藏して用ひず過爐銀として使用したるを以て過爐銀は大に其の價値を失し信用薄き銀爐を發したるものは加色五六十兩を支拂はさる可らさるに至れり明治廿八年五六月光緒廿一年四月營口公議會は評議をなし之が整理を勉め遂に過爐銀一千兩に付元寶銀八百五十兩又は元寶銀一錠に付加色八兩の割を以て過爐銀の貸借を決算することを決議實行し整理を了り卯期元寶銀を以て過爐銀を淸算する舊慣に復し圓滿に使用されたりしが明治三十三年光緒廿六年義和團事變發生の際より再び紊亂し加色は二十余兩に昇り一浮一沈常なく貿易の阻害を爲す少なからす明治三十四年八九月の頃より正金銀行は露淸銀行と協同し時に魯國民政廳の援助を得て之が整理の任に當り明治三十五年四月頃に至り之を了りたり然れとも此時變亂の後にして元寶銀拂底し銀爐は之れを支出する能はす因て元寶銀に換ゆるに小銀を以てし過爐銀五十三兩五錢に付小銀貨八十一元五十仙の割を以て決算することを許し明治三十六年九月頃まで此法を持續せしが其頃日露の干係漸く危險に陷り過爐銀は紊亂せんとする兆を顯はし明治三十七年二月日露開戰に至り全く紊れ我軍營口を占領したる後同年十一月十五日に至り軍政署は諭告を出し銳意整理の結果今や其緒に着に至りたれば好果を得る近きに至らん

廣告

告示

關東總督府
陸軍大將男爵 大島義昌

出示曉諭事照得横濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納款諸凡交易均用該票無異於元通用極便商賈爲之暢獎之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其廣日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是横濱正金銀行茲奉我日本政府允准一面再行發票一面置銀備換以使商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色旗民紳商等一體知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸詭之徒謠言惑衆碍難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

横濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ距通ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ茲ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回収セラルヘキヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮説ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月

關東總督男爵 大島義昌

告示

登記規則中改正の件

不動産登記規則中左の通り改正す

第十六條第一號中「千分の五十」を「千分の三十」とし同第二號「千分の十二」とあるを「千分の十」とす

告示

撫順大野兵站司令部にて來る三十日午前九時左の食用品及び糧秣品を競賣に附す二十五日より現品の縦覽を許す

競賣品目

干飯七十石携行牛罐二千八百三十六貫普通罐詰肉一万二千四百十四貫鹽鯛三千二百四十四貫茶三十五貫砂糖六十貫甘味品十四貫干魚六百三十貫干野菜一千百二十五貫醬油エキス五貫精米二十九石割麥二十石

牛家屯兵站司令部

御忌法會

來る二十五日午後一時(營口時間)より修行

法然上人は日本念佛の元祖なれは宗の同異を問はす念佛を信するの人は參拜し報恩あらんことを案内申上候

一月二十四日

永世街通り二本町西へ入る南側四軒目

淨土宗開教場

追て毎日曜日午後一時(營口時間)法話開筵

藝妓仲居新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候 草々

營口 高砂ホテル

高砂 (電話一四五)

緊急廣告

本會雇員をして各戶に就き本會々費を徵收せしめ候間本會印を捺押しある領收證と現金と御引換に御渡し相成度此段廣告候也

明治卅九年一月十八日

牛莊日本人會

◎フレノロジー

頭腦を觀察して身の上はんだんをなす

營口曁濟門街廿三號 李後氏宅の西半町

利生堂

營口永世街

營口印字局

開業廣告

會席 御料理

高等 御旅舖

弊店儀三十三年開業以來各位樣の御引立に依り日に月に繁榮を蒙り難有今後引續き御贔負を仰き幾分の御報謝仕度就ては今回滿洲第一のホテル奉天府滿洲ホテルを買受け來る二月一日より旅館及料理店開業可仕候に付彼の地に御出の節は是非共御光來の程偏に奉願上候尚各店共勉强專一に仕精々御便利相計可申尚新に藝妓酌婦を呼寄候に付御引立の程願上候也

月 日

本店 天津日租界 金城館 (電話二二四)

支店 營口永世街 金城館 (電話八三)

金城ホテル

支店 奉天府小西門外 金城館 (電話特二四)

金城ホテル

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

金城ホテル 旅館部

藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名伴れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粹の江戶つ子

金城館料理部

營口

會席御料理

南隣慶樂温泉

營口永世街

一力

堀万助

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雑貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

謹賀新年

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

博文館營口代理店

書籍、銘茶商 賣藥、雑貨

大坂屋

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大薬房

浅田飴 あさだあめ

肺癆痰喘氣急傷風咳嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかせ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

満洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

發賣 標子 木板 料木

營口青堆子

清水寧木局

澤亀ハ醇良ニして風味高尚

並ニ 札幌ビール 朝日ビール 政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和 酢 醤油 瓶詰樽詰 菓子 鑵詰色々 洋酒類 取次販賣

釀造發賣元

大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城內西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛荘港東營口 營口支店

宅合名會社

雑貨

醤油 味噌 清酒

營口西北街

阪神組

倉庫業

倉庫位置

營口綏宗門街（公和客）院內

郵船會社碼頭ヨリ西二丁余 商船會社碼頭筋向イ 河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置

新玉號倉庫部（電話一五七號）

正札 特別廉價 **雑貨** 賣出し

一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋

永世街森病院隣

和清洋行 志田ます

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を醸造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣 關東公司雑貨部

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）

（電話百二十七號）

寫眞 永清

奉天府 大南門裡路西

酒保品 諸雑貨 卸商

神崎洋行

營口永世街甲百廿七號醫務課前

▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

軍隊用雑貨
日用品雑貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類

卸小賣

營口永世街百七十號（第二市場東東）

其外新荷着精々安價販賣

石原商店

福

大連揚汽車便 最新着荷

●清酒 白鶴
●北海道産 玉葱
其他雑貨色々

元神廟街

㊇ **田中洋行**

御旅館

奉天 小西邊門內路北

茂林館

日本物品依託賣買幷ニ満洲各産物毛皮類ノ求ニ應ズ

追テ

家屋宏壮接待優遇

時刻

唐山至天津　上六、[illegible]　上一[illegible]
塘沽至北京　上六、〇二　上一一、〇八
天津至北京　上二、〇〇　下一二、〇六
山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五　下五、二〇

天津至山海關　上六、[illegible]　下六、[illegible]
唐山至山海關　上六、〇五　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇〇　下四、五五
溝邦子至新民　下三、〇〇　下六、五七

遼陽發　奉天着午後　六、二三　七、二〇
奉天上り列車　着午後　一二、〇六
奉天發午前　一一、〇〇

驛名　發　着　時刻
大連　發午前　七、三〇
旅順　着　一〇、四九

營口　發午後　十〇、二五
大石橋　着翌前　一二、二〇

宮門抄

二十六日

慶王因伊子充經筵講官謝　恩　振貝子徐世昌鉄良謝充經筵講官　恩　孫中堂謝充領閣事　恩　那中堂謝充國史館總裁　恩　世中堂謝稽查上諭事件處　恩　紹昌謝充直閣事　恩　管廷鶚謝授光祿寺卿　恩　吳士鑑謝充文淵閣校理　恩　醇王請假五日　文泰請假十日　內閣呈進賀表　禮部奏元旦禮節　又奏派宣表官　派出崇恩　侍衛處奏派入座次序　派出奎順在芬車之次

召見軍機　蒙古王公

外務部遞封奏一件

上諭恭錄

二十六日奉

上諭呂海寰着留辦商約事宜兵部尚書着徐世昌兼署欽此

上諭學部左侍郎着張仁黼調補張亨嘉着補授兵部右侍郎欽此

旨廂白旗漢軍副都統着蔭廉署理欽此

奏議

吉林將軍達奏創辦罪犯習藝所大概情形摺

奏爲吉省創設罪犯習藝所開辦大概情形恭摺具陳仰祈

聖鑒事竊查前准刑部咨嗣後各省徒罪人犯毋庸發配概照所定年限收所習藝軍流人犯若爲常赦得原者即在本地收所習藝並以奉天直隸熱河三省向不安插軍流非常赦所不原免其解配之軍流各犯應否即在本省收所工作抑照定例發配趕卽體察情形奏明辦理等因其時前將軍長順因查吉林亦與奉天直隸熱河三省向不安插軍流但此常赦得原之軍流各犯各省既俱收所習藝吉林似不容獨異當經分咨奉天直隸等省會商辦法嗣准直隸總督臣袁世凱以此項常赦得原罪犯按例既無終棄之文其人即有還鄉之日似不若概免發遣留於本省收所習藝等因咨覆到吉適長順因病出缺暫署將軍富順以此項習藝所前准部咨先就省城及有巡道處各設一所吉林府廳州縣統歸吉林道管轄自應即就省城創設一所隨飭吉林分巡道妥籌興建迨奴才到任後經催飭趕修茲據吉林巡道方朗以飭建習藝所各屋一律落成並擬就開辦章程具詳前來奴才詳加查核吉林每年內外結徒犯約有五六十名向於辦結後送交工程局罰充修建道路苦工核與充役本意既適相符揆諸習藝新章亦不相背應請仍循其舊毋庸更易外其餘軍流各犯大抵强盜搶奪居多其爲常赦得原准免解配之軍流各犯闔統省現有府廳州縣各屬而併計之歲不過二三十人但一年有此數轉年即倍之積日累月逐漸增多故該所以能容二百人爲斷現建各屋足敷佔住即慮將來人犯衆多則院內外尚有空地堪備添建監房當不致於局促惟購買房基修造工料與夫開辦資本常年經費等項種種需款爲數匪細當此地方彫敝庫儲空虛既未便派捐累民又不能動用正款爲炊無米計無可施惟有設法借墊以濟要需容俟籌有的款再爲歸楚至各該犯所習工藝似當先就粗淺者如織布紡紗打繩編筐等類庶幾就學時易尋追步造成後便於行銷仍當逐件推廣由粗及細並限定工作分數按月嚴行稽查罰惰奬勤俾免曠課現在僱募教習置備做工器具所有各犯應自光緒三十二年正月初一日起一律收所習學所中一切事務甫經創辦倍極紛煩應於候補州縣中遴派一員爲住所官以便稽查彈壓而以吉林府知府爲兼轄官務期實事求是俾得日起有功庶収化莠勸工之效除將未盡事宜督同道府各員隨時籌辦外所有遵設罪犯習藝所開辦大概情形理合恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示謹　奏奉　硃批刑部知道欽此

中外要聞

●俄兵藉端不撤　聞黑龍江來電云頃有匪相結成群異常滋擾姦淫刼掠無惡不爲俄軍以爲奇貨藉此不肯撤兵陰則施其運動手段謂惑匪藉以爲要挾之口實其手段實可惡矣

●學部奏調司員　聞學部奏調司員四十人已於十六日具奏楊度陳二立鄒代鈞羅振玉均在其列餘不具錄

●漢口分設戶部銀行　日前財政處會議以京漢鐵路大通南北商務皆以漢口爲總匯之區當經決定在漢口分設戶部銀行以握利權並奏派道員黎大鈞總辦其事已奉　旨依議

●親王會議俄防策　北京十三日函云蒙古喀拉沁親王青海蒙古之土爾扈特郡王現均來京理藩院尚書肅親王遂與該各蒙王商議啓發蒙古之法講求防禦俄人侵畧之策土爾扈特郡王已於三月以前來京王年不過二十三四歲才識聰敏與喀拉沁親王均屬蒙藩中大有望之人物　皇太后　皇上亦甚屬望該二親王聞土爾扈都郡王擬於明春赴日遊歷云

●俄公使要索中日滿約　外部開宴邀請俄璞使修賀新年之禮歡飲甚爲欵洽忽然俄公使要索中日滿約閱看外部大臣無所措詞咸答以此係新年會晤接待貴公使之宴未便更談交涉是日璞公使不歡而去

●慶邸力辭中俄交涉　慶邸已向各大臣宣說此次中俄議約之事決不干預雖　旨意派任此差亦必力辭也　又聞軍機政務兩處消息中俄開議日己不遠各大臣皆不願富此議約之任因璞公使狡滑難於對附故耳

●馬將軍擬請開缺　原任伊犂將軍調任烏里雅蘇台將軍馬亮因烏城缺苦歲需墊賠三四千金之譜又以前政府因烏城瘠苦議增津貼及辦公費嗣籌款無着遂爲罷論故馬留守有電奏懇請開缺之信蓋烏里雅蘇將軍在各將軍缺中爲邊遠最苦之缺前將軍連順調京聞亦出于自請云

●喇嘛至印度之關係　西藏之班禪喇嘛現至印度謁見英國皇太子據官場消息謂英國有勸喇嘛獨立之舉故中國大官恐該喇嘛見印度之繁華離心中國寄心英國因之大抱杞憂然英國外交已大成功矣

●調查奉天省城學堂　第一小學堂在大北關第二小學堂在城內四牛街第三小學堂在小南門內第四小學堂在大西關街第五小學堂在小南街第六小學堂在大東關抱覺寺維城小學堂在小南關武備學堂在大東邊門外警務學堂在大東邊門　第一半日學堂在小北關第二半日學堂在東關官話字母館在城內中學預備學堂在大南關師範傳習所在小南關師範學堂在大東關文會書院在大南關總共十九所教員五十六人學生一千一百四十三名

●俄人暴亂反向中國索償　北京消息云本月初旬恰克圖地方忽有亂事亂黨中有俄兵中國茶商皆被掠刼俄商間亦受有損害俄國政府以該暴亂係屬中國亂民故向庫倫辦事大臣索償中國政府査知此亂實係俄國意羅格苦地方俄國革命黨人所爲故外務部以俄人要求無理已極遂由瞿子久尚書與那中堂聯侍郎等會商照會俄國嚴詞駁斥

●俄使改調傳聞　茲據官場傳說駐京俄國公使璞科第君奉其本國政府之電改令駐日駐中國公使另行簡員接任未知確否

白話

●洋烟嘆

（起板）夢醒來　把心腸　從頭改變

（中慢板）思想起　害人間　那件爲先　鬧娼妓　只爲着　風流消遣　愛賭博　原本是　或有贏錢　喫花酒　不過是　親朋敘讌　待嘉賓　能合歡　自古有言　朝則魚　晚則肉　雖非廉儉　究竟他　還可說　以食爲天　鶯粟殼　芙蓉膏　名爲鴉片　敗聲名　喪身體　都是洋烟　初起引　不過是　閒談消遣　燃着燈　燒幾口　快樂如仙　有誰知　引深了　一時難免　日過日　月過月　年復一年　任他們　家素豐　人稱萬貫　有誰知　厚成薄　薄又成窮

（中板）這煙鎗　不過是　竹子所變　吹散了　中華國子弟萬千　這烟斗　不過是　坭土所練　入盡了　金和寶　無底無邊　這煙燈　不過是　紅火一點　燒盡了　樓房屋　無火無烟　這烟杆　不過是　一條鐵線　挑盡了　東西庄　萬頃良田

（轉板）每日裏　橫床中　把他人論短　怎曉得　自家事　更有難言　霎時間　囊空了　錢財不便　行不寧　坐不安　口中流涎　低下頭　往街上　暫行誆騙　又誰知　公廖店　均要現錢　轉計着　思想起　親朋通便　尋着他　打秋風　或者哀憐　有誰知　囊不解　還來羞貶　又罵他　食烟人　實不踐言　又罵他　世界中　幾多好練　爲甚麼　日夕裏　學鬧洋烟　況且你　這樣人　何時得厭　好一比　滄海中　廣洞難塡　嘗言道　雪中炭　何曾得見　見只見　錦繡上　然後把花添　勸世人　未有引　千萬勿練　勸世人　有了引　解脫爲先　我這裏　少年間　也曾沾染　到如今　被困了　十有餘年　那煙毒　害世人　年華喪短　害世人　友與朋　東扯西牽　害世人　尋生理　無人引薦　害世人　名利心　總全捐　這話兒　不過是　閒談消遣　道盡了　鴉片烟害毒少年　今日裏　言新政　官場先變　發起那　教育中　萬古良言

（収板）除却了　黑籍中　重覩光天

豫報　昨日の氣溫　最高溫度二十五度三　最低溫度零下四度二

NEWCHWANG, WEDNESDAY, JAN. 24, 1906.

THE HAND OF DIVINE PROVIDENCE (PART XXV).

Each official was all too busy, looking after his own bitters and sweets and his master's wants. So it was. There were in January 1904 only about 40 guards at the Russian Legation in all Seoul, whilst 2 companies of Japanese troops were stationed there. Korean soldiers of the ranks would not salute the Japanese officer in the streets. They were afraid of being seen in the act. Some Korean officers who had passed through the Japanese Cadet Academy would not enter the gate of the Japanese barracks. It might cause his instant dismissal from the service or something worse.

Port Arthur was so near. Swift Cossack troopers could cross the Yalu and gallop down to the capital in a few days' time. M. Pavloff, the Russian Minister, was then an absolute autocrat at the Korean Court. Even the Emperor himself was a most docile puppet under his manipulating fingers. Who had made him the 'Emperor of the Independent Korea'? What a dear price had been paid to make him so? What a motive had impelled Japan to pay that price? On the other hand, whatever had Cossack done for Korea's good that he should have outshone Japan at the Korean Court and throughout the officialdom, with the thoroughness of the ascending sun that makes the wan, vanishing moon look so silly? He had fleeced Japan of her Liaotung Peninsula. He had deliberately spat on Japan's face, before the eyes of China and Korea. He had divested her of her honest earnings and kicked her down on the ground. "Have you got the sand enough to resent this?" He hissed to Japan. But, the sand was found sorely wanting in her. China and Korea had been given to understand what a contemptible imbecile Japan was at the bottom. Korea had no need for such an imbecile. And she had straightway turned her scornful nose at everything Japanese. If there was any danger at all of Korea ever slipping through Cossack's mortal grip, the Bragovestinsk atrocity had done away with it once for all. Thus, the 'Interference' *coup* and the Massacre were all that Cossack had done to win him an absolute psychological conquest over Korea. Her saviour—the author and donor of her independence not to speak of her physical and economical claims,—thrown away like a precious trash for the fear of the Robber-Murderer! Good Heavens, spare the infernal sight! The treacherous ingrate would have thrust by stealth a poisonous steel through the quick of her benefactor!

The grand athletic competition held at the Bohemian Athletic Club last Saturday evening, was a pronounced success. Prof. Billy Bellew only regretted deeply for the absence from the port of Messrs. H. F. and C. G. Bush, Master Scott Webster and a few others who are all proficient boxers. Mr. W. T. Waddilove made a splendid showing throughout the programme, coming out on the top of 3 contests—handvaulting (5 ft. 4in.: prize—a silver medal), high jump (4 ft. 3 in.), and weight-lifting (90 lbs. with one hand). Further, he won the 2nd. prize in ball-punching, besides earning a handsome gold watch as the best all-round athlete. As the same contestant is not entitled to more than two 1st. prizes, Mr. Waddilove renounced the honours for high-jump and weight-lifting in favour of the 2nd. winners, respectively Mr. R. Stewart (3 ft. 10 in.) and Mr. McIntyre. Mr. Uyeda carried off the prize for wrestling and Mr. Takata that for Japanese fencing. 5 stalwart Chinese engaged in a very lively 'battle royal.' But none of them could make a mark for his pluck enough to merit the prize. Master Amer Williams, lately out of the Weihaiwei School, gave, at the special request of the company, a thrilling exhibition of his wonderful agility, on ladders and rings. Messrs. Stewart and Liebe fought a good boxing match, each displaying much science and skill. Mr. Stewart was declared the victor.

There was a large delighted attendance, who remained quite oblivious of the fleeting hours far beyond the turn of time upon the midnight pivot. The charmed gathering broke up close upon 2 in the morning.

Maj.-Gen. G. Nagaoka, ex-Vice Chief of the General Staff Office under Marshall Yamagata during the late war, arrived at the port yesterday morning. The distinguished visitor will remain a guest of Lt.-Col. Yokura till to-morrow when he will leave for Liaoyang.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

旅館　千代田旅館　永世街甲八十七號　店主　高橋きみ

料理　沖の島　永世街十八號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館　彌生館　永世街百六十七號

料理　やよひ　永世街百六十七號　店主　宮下只七郎

料理　滿月　平野町百八十二號（電話一六二）　店主　青木勝憲

料理　滿洲樓　西北街二百五十二號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主　田島彌助

御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主　和田常松

料理　松酒家　元神廟街　矢野洋行向ひ　店主　山本壽三郎

旅館料理　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

旅館　大和館　永世街六號　店主　前田九一郎

旅館料理　金城ホテル　永世街百六十六號　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館　東雲　主任　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街

さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

和洋御料理　第二東京館　元神廟街　店主　松田平四郎

東京一流　かき飯

和洋料理　松月亭　本店　營口元神廟街一四三号

和洋料理御旅館　支店　滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　井上源吉

御料理會席　菊水館　主任　朝枝園提

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　西野治三郎

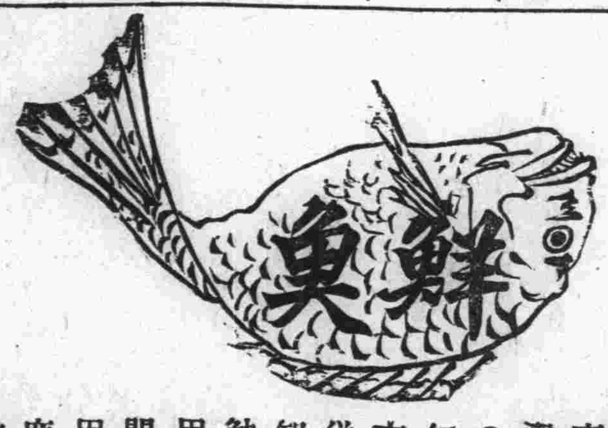
御料理會席　來々亭　主任　石田清

料理　鋤焼　花楽亭　營口元神廟街　眞主　元權吉

御徳用品　新荷着急告

○食料鑵詰　○塩魚干魚鰹節　○乾物色々　○亀甲万印醤油　○赤白味噌　○菓子類数種　○銘茶各種

林屋洋行　營口永世街警務課前南へ入



幣店儀雑貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候　敬具

營口南永世街百廿七號　森屋洋行

大連大山通り二丁目　仝支店

遼陽西門外　代理店　林洋行

奉天小西門外　代理店　米田洋行

御旅館　天津　芙蓉館　駐屯軍御用　並西洋料理（電話四十一番）

北京　扶桑旅館　東單牌樓大街路西　客室清潔料理鮮新

御旅館　豊陽館　上海（電話一〇六番）　日本郵船會社荷客取扱　歐米滊船乗船取扱　館主　米田藤吉

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin.
General Store-keeper & Commission merchant.

銘酒　菊正宗　新着!!

營口明覽平定價にて差上ます

祝新年　雜貨商　加藤洋行（電話營口八十番）

本店　天津日租界　支店　營口　北京　出張所　遼陽　大阪

旅館　東京樓　營口中央市場前　萬事勉强乗車乗船好位置　店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）　西洋料理仕出し御需應にず

奉天日本旅館　瀋陽館　家屋宏壯清潔　接待優遇懇切　開業　開放全時　奉天小西門外大街路北

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）

奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店

各位樣

御旅館兼待合所　並にうどん、そば

今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乗降の都度御休泊被下度奉希候

牛家屯停車場前　若松家

各位樣

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓

○上等日本米　一石に付　銀二十圓

○板材木　○木炭　○亞鉛板　○洋釘　○千塩魚　○石灰

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持参可仕候也

喜久洋行　永世街八十號（電話百五十二番）

爲替相場（二月廿四日）

日本向軍票百圓に付金九十五圓五十錢

上海は百圓に付六十七兩二錢五分

天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢

芝罘は天津と同値段

日本品最近物價表　加藤洋行調査

菊正宗	四斗入	銀二十圓
菊正宗	三斗九升入	同十七圓
麒麟正宗	四斗四升入	同十五圓
仝	瓶詰四打	同十[illegible]圓
鮪	四打入	同十三圓
ラッキヨ	五打	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
フキ	仝	同八圓
菜蝶	仝	同十四圓
驚ミルク	仝	同十八圓

石炭（飯塚工程局）

上等塊炭	一噸ニ付	銀十八圓
切込	仝	仝十七圓五

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付	銀四仙
一ヶ月前金	銀八十仙
半ヶ年前金	四弗八十仙
一ヶ年前金	銀九弗六十仙